

科目名	現代社会 Introduction to social sciences	科目コード	40070
-----	---	-------	-------

学科名・学年	全学科・第1学年
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56、試験4】
教科書	最新現代社会（実教出版）
補助教材	プリント、ビデオ、資料集、地図帳
参考書	授業中に指示

【A. 科目の概要と関連性】

- ・日本の憲法理念: 人権、近代民主主義の原理、日本国憲法、現代政治の諸問題
- ・地球世界: 国際政治、民族・人種問題、新旧の南北問題、貧困・飢餓・低開発問題
- ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、公害と環境問題
- ・日本の社会の諸問題: 市場経済のしくみ、日本の財政と金融、社会保障の仕組みと問題

【B. 到達目標と学習・教育到達目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①社会や世界の仕組みと現状を学び、人類的に重要な問題を把握すること。	—	(a1,2,3)
②社会的な常識や問題意識および、良心的判断の基礎を獲得すること。	—	(a1,2,3)
③地球市民として、エンジニアの卵として人類や地球に優しい判断をし、意見を言えるようになること。	—	(a1,2,3)

【C. 履修上の注意】

この授業では市民社会的な常識や問題意識および、良心的判断の基礎を獲得してもらうことが主なねらいです。君たちは自主的に、貧困・飢餓・低開発・紛争・地球環境などの人類的大問題について新聞や書物を読んだり、インターネットを検索したり、テレビのニュースをみたりして、授業内容を補足しておいて下さい。特に地理の知識は重要です（サッポロ、センダイ、ナゴヤ、オオサカ、キョウト、フクオカ、カゴシマ、オキナワ、ナハ等の重要な地名を漢字で書けるようにしておいてください）。

ノートの取り方について。ノートは提出しやすいように一冊ノートを使って下さい。日付と話題と板書内容を分かりやすく書き、授業で参考にする教科書や資料のページを忘れず書いて下さい。コメントや意見が書いてあるといいです。

ノートは定期的に提出してもらいます。ビデオの感想文などもノートに書いて提出してもらいます。夏休みと冬休みには課題を出しますので、休み明けに提出して下さい。

【D. 評価方法】

前期・後期各々の中間試験と期末試験（7割程度）、授業参加度（1割程度）、ノート提出（1割程度）、レポートなどの提出物（1割程度）で判定します。50点以上を合格点とします。

【E. 授業計画・内容】●前期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	インターネット見学	
3	社会経済のあり方	
4	憲法原理：基本的人権の尊重、国民主権主義、平和主義	
5	立憲主義：民主主義、三権分立、市民主権・自治	
6	政府の仕組み、選挙制度	
7	まとめと復習	
8	中間試験	試験時間：50分
9	平和主義：戦争の惨禍と戦争放棄、第9条の理解	
10	平和主義：新日米安保体制、世界の安全保障体制	
11	現代世界のグローバリゼーションと低開発、金融危機	
12	冷戦後の世界、宗教・民族紛争と難民問題	
13	飢餓・貧困・低開発問題：国連の貢献	ミレニアムゴールズ
14	新南北問題：アフリカ問題、サミット体制、まとめ	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

●後期

週	内容	備考
1	基本的人権：自由権	
2	基本的人権：平等権	
3	基本的人権：社会権	
4	地球環境問題：諸問題、公害と社会的費用	
5	地球環境問題：宇宙船地球号、持続可能な開発	
6	世界的対策：温暖化対策、人間の開発、まとめと復習	
7	中間試験	試験時間：50分
8	日本経済の現状と諸問題、国民経済計算、グリーンGDP	
9	世界経済とグローバリゼーション：世界金融危機と不況	
10	日本の財政（政府一般会計の構造、財政破綻問題）	
11	日本の金融（長期低金利、世界金融危機問題）	
12	日本の社会保障（公的年金制度の破綻と改革）	
13	企業と労働者（技術革新と労働市場の変化、IT化）	
14	まとめと復習	

—	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	